

伶楽舎雅楽コンサート no.26

天の音楽 世間の楽 ～源博雅をめぐる～



平安時代の管絃の名手として知られる源博雅には数多くの逸話があり、知るほどに、その魅力的なエピソードを音にしてみたい、その響きを聴いてみたい、という思いにかられます。伶楽舎では、今回、国文学の石田百合子氏のご指導とご協力を頂き、源博雅をめぐるいくつかの音楽シーンを取り上げ、音にいたします。今回のタイトルは、『古今著聞集』の博雅誕生時の説話、「天をきくに微妙の音楽あり。笛二・笙二、箏・琵琶各一、鼓一聞こえけり。世間の楽にも似ず、不可思議に目出たかりければ……」からつけました。

第一部では、博雅のエピソードを、お話と実演を交えて紹介し、博雅作曲と伝わる唯一の曲「長慶子」や、博雅が朱雀門で鬼と吹きあわせた場面を想定して、博雅が絶賛していたという大曲「萬秋楽」を笛のみの演出で演奏します。

第二部では、「世間の楽」の例として、管絃の演奏をお聞き頂きますが、これも大曲である「皇慶」を選びました。また、「天の音楽」、即ち『古今著聞集』の説話にちなんだ新作を、雅楽に詳しい増本伎共子氏に、特別にお願いしました。楽聖、博雅が生まれたときに聞こえたという天の音楽の響きはどのようなものだったのでしょうか。

第一部 太食調音取、長慶子
萬秋楽、琵琶独奏 啄木 ほか

第二部 皇慶 破、急
増本伎共子作曲「博雅の生まれた日に……」(委嘱初演)



2012年12月27日(木) 午後7時開演
(開場6時半)
四谷区民ホール 前売・予約2,500円 当日3,000円

チケット 枚数、氏名、連絡先(電話・ファクス番号)を明記の上、以下の方法で
申し込み お申し込みください。後ほど御連絡いたしますので御確認ください。

FAX: 03-5269-2011(伶楽舎) ファクスのみの取り扱い(12/26、17:00まで)

Eメール: ticket1227@reigakusha.com (12/25、17:00まで)

●東京コンサートのHPから予約してセブンイレブンでチケットを受け取ることもできます。

webチケット: <http://www.tokyo-concerts.co.jp>より申し込み

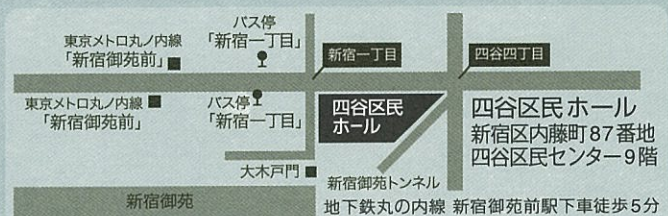
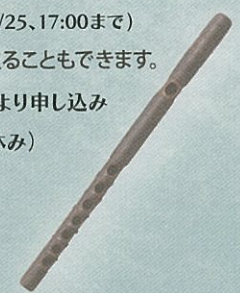
電話予約: 03-3226-9755 (10:00~18:00/土日祝休み)

チケット発売開始: 10月15日

助成: 芸術文化振興基金

伶楽舎 〒160-0012 新宿区南元町19-2 千日谷会堂内

Tel&Fax: 03-5269-2011 <http://www.reigakusha.com>



増本伎共子 桐朋学園大学作曲理論学科卒。作曲の他に、日本伝統音楽に興味を持っていた時期もあり、『新版 雅楽入門』(2010年 音楽之友社)などの著書がある。作品としては、ミュージック・フロム・ジャパン委嘱による「嬉遊楽～雅楽鑑賞入門～」(2001)がニューヨークをはじめ北米各地で伶楽舎メンバーにより演奏された。

伶楽舎 1985年に発足した雅楽演奏団体。音楽監督・芝祐靖。現行の雅楽古典曲だけでなく、廃絶曲や正倉院復元楽器、現代作品の演奏等、幅広い活動を展開。国内各地の他、米国、欧州諸都市で公演。2002年中島健蔵音楽賞特別賞受賞。

荒川明英、石川高、岩亀裕子、北村茉莉子、小林勝幸、五月女愛、酒井麻椰、笹本武志、鈴木絵理、田口和美、田島和枝、田中康真、谷内信一、田淵勝彦、角田真美、東野珠実、中村かほる、中村華子、中村仁美、野田美香、日比和子、平井裕子、福西賢、三浦礼美、宮田まゆみ、宮丸直子、村岡健一郎、本橋文、八百谷啓、八木千曉

伶 倫 楽 遊

企画主催 伶楽舎
音楽監督 芝祐靖

お話 石田百合子
(古典文学研究家)